

第2回 KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞®

手紙(文章)部門 <中学生の部>

弟、こんにちは。姉ちゃんだよ。姉ちゃんは14さい。今、中学生だよ。

勉強はあまりできないけどね、あまり自慢できないけど、姉ちゃんがんばってるよ。

あなたが生まれた日の事は、今でもはつきり覚えている。

その日は晴れてて暑かったよ。青空がキレイだった。

その日、私は学校を休んで、あなたが生まれるまですっと待ってたよ。

あなたが生まれるってママから聞いた時、やきもちをやいたけど、うれしかったよ。

男の子って知った時はすごくうれしかったよ。

あなたが生まれてくるのをずっと楽しみにしてたよ。

ママはね、私となりでがんばっていた。ママは強かった。

あなたが生まれるまですっとがんばっていたよ。

午後4時に、あなたが生まれた。

生まれてきた時、私見たよ。

あなたの体は、私の手の大きかった。あなたは小さい体で私の手の平に乗った。

体がすごくやわらかくてもちにくかった。すごくちいちゃくてかわいかった。

そして、すごく笑顔だった。笑顔がすてきだった。

あなたの笑顔を見た時、生まれて初めて姉ちゃんって気分だったよ。

あなたの御陰で私、何かをする前によく考えるようになった。

弟ありがとうね。

あなたと一緒に遊びたかった。勉強を教えたかった。もっと一緒に過ごしたかった。

聞きたい事が沢山あるけど、全部質問すると弟は答えきれないんだね。

元気ですか。

あなたが今いる所は楽しいですか。

弟、私たちはずっと4人兄弟だからね。

一晩しか一緒に過ごせなかったけど、あなたの横で一晩寝れてよかったよ。

弟、私の弟で生まれてくれてありがとう。

弟がいない世界でも私あなたの笑顔も絶対に忘れない。

あなたが生まれた事に感謝しています。

私はあなたのぶんまでがんばるよ。

JOAO PEDRO、私たちの事をずっと見守ってね。

JOAO PEDRO さようなら